



図書館だより 2017年4月

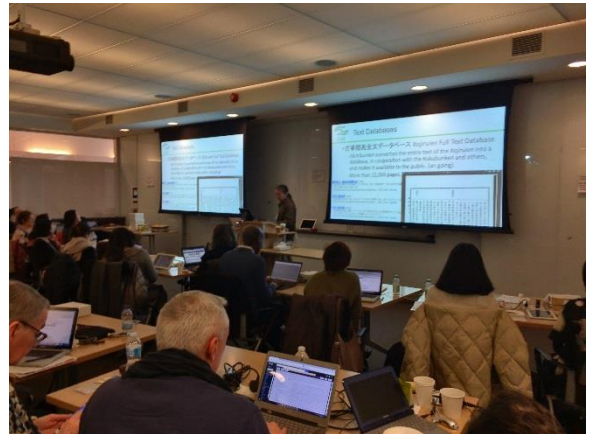
資料利用係(2066・riyou@nichibun.ac.jp)

北米日本研究資料調整協議会 (NCC)、東アジア図書館協会 (CEAL) に参加しました。

2017年3月、トロントで開催された北米日本研究資料調整協議会(NCC)ワークショップ、東アジア図書館協会(CEAL)年次集会に、日文研から山田情報管理施設長と資料課職員2名が参加しました。

NCCワークショップでは、日米の司書・研究者が集まり、「Doing Digital Scholarship in Japanese Studies」というテーマで互いに資料とデジタルの活用について発表し合いました。日文研からは、日文研オープンアクセスや日文研データベースの最近の動向について紹介しました。

また北米の司書のみなさんと実務的なミーティングや交流の機会を多く持ちました。



図書館の本が壊れたときは

本を大切に
扱きましょう。

壊れた図書館の本は、和紙や製本用具を使って、職員が修復をします。

- ▶ 返却時にひとことご説明ください。
(黙って返却されると、修復する機会を失います。どうぞ遠慮なくお申し出ください。)
- ▶ ご自分で修復しないでください。
(市販のセロテープや接着剤を使うと、被害が増します。そのままお渡しください。)

カウンター担当者が4月から変わります。

4月の人事異動により、カウンター担当者(資料利用係職員)が変わります。

●退任:塩田花代

4月から大阪大学理工学図書館へ異動となり、7年間お世話になった日文研を離れることとなりました。日文研では、様々な資料に触れる機会に恵まれ、また、先生方からも多くのことを学ばせていただき、大変感謝しています。ここで得た知識や経験は、確実に自分の糧となり、今後の人生に役立つものであると感じています。次の赴任地でも、多くの経験を積んで精進して参りたいと思います。ありがとうございました。

●新任:荒木のりこ

4月より大阪大学からまいりました荒木のりここと申します。大阪大学では医学系・外国学系の図書館で勤務しておりました。これから日文研でお世話になります。不慣れなことが多く、ご迷惑おかけすることも多々あるかと思いますが、初心に戻り、いち早くこちらの仕事に慣れるように努力する所存です。以後よろしくお願ひ申し上げます。